

平成24年行政事業レビューシート

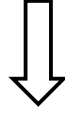
(厚生労働省)

<b>事業名</b>	情報サービス産業就職促進費	<b>担当部局</b>	職業安定局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21～23年度	<b>担当課室</b>	首席職業指導官室	首席職業指導官 伊藤 正史				
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用勘定	<b>施策名</b>	II-1-1:ハローワークの需給調整機能の強化、労働者派遣事業の適正な運営確保により、労働力需給のミスマッチ解消を図る					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	雇用保険法第62条第1項第5号	<b>関係する計画、通知等</b>	平成23年3月30日付け職発0330第17号「「情報サービス産業分野における労働力需給調整機能の強化について」の改正について」等					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	他の産業と比較して求人倍率の高い「情報サービス産業分野」における労働力需給のミスマッチの解消を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	情報サービス産業分野における労働力需給のミスマッチの解消を図るため、主要なハローワークに「就職支援コーディネーター(情報サービス産業分)」を配置し、情報サービス産業の事業所に係る情報収集、業界動向に関するセミナーの開催、求職者への職業相談・情報提供、求人者への人材確保に関する相談・情報提供、求人・求職の個別マッチング等を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算		348	251			
		補正予算	366					
		繰越し等						
		計	366	348	251			
		執行額	188	214	212			
	執行率(%)	51.4%	61.5%	84.5%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	情報サービス産業における求人充足率	成果実績	人	9.1	7.7	7.0		
		達成度	%	185.7%	84.6%	95.9%		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	情報サービス産業に関する求人・求職情報提供件数	活動実績 (当初見込み)	件	24,340	46,779	39,274		
				-	( 24,340 )	( 45,600 )		
<b>単位当たりコスト</b>	4,586 (円/求人・求職情報提供件数)		算出根拠	就職支援コーディネーター(情報サービス産業分)に係る謝金(執行額)/求人・求職情報提供件数 = 180,121千円/39,274件				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	情報サービス産業においては、労働力需給のミスマッチが大きいため、求職・求人のマッチング支援が必要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	職業紹介や雇用保険事業は、ハローワークの全国ネットワークを有し、雇用のセーフティネットを担う国が実施すべき事業。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	備品費など庁費に係る執行額が見込みを下回り、不用額が生じた。
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	予算の大半は、就職支援コーディネーターに係る諸謝金である。雇用失業情勢の見通しや前年度実績をもとに目標数を設定する等、単位あたりコストの削減に努めた。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	予算の大半は、就職支援コーディネーターに係る諸謝金であり、事業実施に不可欠のものである。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	情報サービス産業に関する専門知識や経験を生かした求職・求人のマッチング支援は実効性が高い。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	23年度は目標未達成(目標達成率95.9%)
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	23年度は目標未達成(目標達成率86.1%)
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
		※類似事業名とその所管部局・府省名	-
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
点検結果	過去の成果・活動実績及び予算の状況を踏まえ、平成23年度末で廃止。		
予算監視・効率化チームの所見			
-			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			-
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	686	平成23年行政事業レビュー	621

国

厚生労働省  
212百万円



【予算示達】

都道府県労働局(47局)  
212百万円

- ・ハローワークに就職支援ナビゲーター(情報サービス産業分)を配置
- ・求職者への職業相談・情報提供
- ・求人者への人材確保に関する相談・情報提供
- ・求人・求職の個別マッチング等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					